

# 全体の流れ

## ① 感染者本人から学校等へ連絡

## ② 調査対象期間を確認



### 事前準備

1. 感染者等からの聞き取りで発症日(無症状の場合は検体採取日)を確認
2. 調査対象期間(発症日2日前～最終登校日)を確認。  
その間の登校日等を確認

## ③ リストアップ&判定(別のリストアップ表を参考)

## ④ 接触者への対応

リストアップされた方は、「**感染の可能性がある方**」です。

**対象者には次の事項をお願いしてください**

- 感染者と最後に接触した日の翌日から5日間(6日目解除)の外出自粛※の検討。7日間(検温など)自身による健康状態の確認
- 上記以外の方も、感染者と接触した翌日から7日間は健康に気をつけてください

※1 保育所、幼稚園、小学校等の職員、障害者支援施設等の従事者は、①他の職員による代替が困難、②ワクチンの追加接種後(2回目接種から6ヶ月経過していない場合は2回目接種から)14日間経過、③無症状であり、毎日業務前に核酸検出検査又は抗原定量検査(困難な場合は抗原定性検査キットも可)により陰性を確認、④濃厚接触者である当該職員の業務を所属の管理者が了解している場合は、業務に従事することが可能

※2 ※1以外の従事者であっても、2、3日目の抗原定性検査キットを用いた自費(事業者)検査により陰性確認できた場合は3日目に待機解除が可能

(※1、2ともに、7日間を経過するまでは、検温等の経過観察をお願いします)

※健康観察期間中に症状が出た場合も同様です

## 症状がある場合は…

### ①かかりつけ医にご相談ください

受診する際には、事前に電話し、「感染者と接触があった」ことを伝えてください。受診にかかる費用は医療機関にご確認ください

### ②かかりつけ医がない場合は、次のいずれかに電話相談ください

・北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター

☎0120-501-507 (24時間)

・最寄りの診療・検査医療機関



診療・検査医療機関  
北海道ホームページ



### ○抗原検査キットを使うときは？

薬局等で「医療用」として販売されているものを使いましょう。「陽性・高リスク」と判定された場合、①・②の対応をお願いします。なお、無症状者の使用は推奨されていません

# 自宅療養に備えたご家庭での準備

御自身や御家族が感染した場合に備え、  
解熱剤や食料等の用意を普段からしておくことが大切です（3日間程度）。

## 〈お薬など〉

解熱剤や風邪薬・胃腸薬・普段お使いの薬

体温計・冷やすもの（氷枕、水枕など）

\* 体温計の電池残量の確認も忘れずに！



## 〈食べ物〉

米・乾麺・レトルト食品・缶詰

水（目安：1日3ℓ）・スポーツ飲料

パックご飯・レトルトのおかゆ・即席スープ・カップ麺

ゼリー飲料・常温保存できるカップゼリー・菓子・のど飴など

\* 喉が痛くても必要な栄養を補えるもの、自分が好きな食べ物を用意しておきましょう

\* 乳幼児用の粉ミルクや離乳食、高齢者用の食事等、必要に応じて用意しておきましょう

\* 発熱や下痢・嘔吐時は脱水症状になりやすいため、水分補給を最優先に！



## 〈日用品〉

ティッシュペーパー・トイレトペーパー・衣類洗剤

台所洗剤・ビニール袋・生理用品・割り箸・使い捨て食器・充電器



## 〈感染防止に必要なもの〉

マスク・使い捨てゴム手袋・ゴミ袋・石けん

アルコール消毒液（手指消毒等）・塩素系漂白剤（施設等）



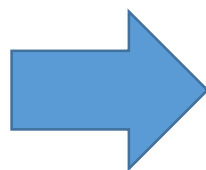
\* 参考\* 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症 陽性だった場合の療養解除について、農林水産省：災害時に備えたストックガイド

自宅療養時にはご希望の方へ「自宅療養セット」を配送しておりますが、  
配送日数を要することや、希望者が多い場合には配送がさらに遅れることが  
ありますので、ご準備をお願いします。



# 改正の概要（濃厚接触者の待機期間） R4.7.22

- 感染者数が急増
- 社会経済活動の維持



国が濃厚接触者の待機期間を見直し

	これまで	7月22日から(※)
<b>待機期間</b>	7日間 (8日目解除)	<b>5日間 (6日目解除)</b>
<b>待機期間の短縮</b> ※抗原定性検査キットによる 2回の自費検査で陰性確認	4, 5日目検査で 5日目から解除	2, 3日目検査で <b>3日目から解除</b>

感染者との最終接触日を0日目とする。

(同一世帯内の場合は、感染者の発症日（無症状の場合は検体採取日）又は感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目とする。)

※ただし、7日間が経過するまでは・・・

- 検温や自身による健康状態の確認
- 高齢者や基礎疾患のある者との接触を避ける
- 高齢者・障がい児者施設・医療機関への不要不急の訪問を避ける
- 感染リスクの高い場所の利用や会食を避ける
- マスク着用等感染対策を徹底する